

令和 6 年 3 月 理事会報告

広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会

日時	3 月 5 日 (火) 時間:14:00~15:20	場 所	Zoom
出席者	大島拓土(委員長、医療)、後藤千穂(研教)、杉浦美香(公衆)、内林英子(広報部、福祉)、 畠山桂吾(部長、医療)、金子康彦(オブザーバー、次期福祉) 欠席：榊原未来(地活)、甲村優実(学校)、加藤美穂(広報部、勤労)、平田芳浩(オブザーバー、研教)		
協議事項 及び 決定事項	<p>①会報誌 ・アンケート (https://forms.gle/JP1XkAowPnDrTACDA) 回答数が少なく、自由記述もなかった。 →今後、LINE 等でのアナウンスもできると良いか。 20 代からの反応を見ようとすると、インスタ、X の活用も必要となる。</p> <p>・作業費等 編集サポートの佐藤さんが入ることで会報誌のクオリティは非常に上がっている。 ただ他の方たちとの線引きが難しいため、作業費の支払いが出来ない。ソフトも自費で購入していた(予算申請すれば支払い可能だが…)。 今後は郵送費も高くなる予定のため、印刷・発送をせずにデジタル化することも検討必要か。 (そうすると1回あたりにかかる負担が分散できるか) 作業にかかった時間、費用等が一人に集中してしまっているため、三役に改めて伺いをしてみるか。 現在2500部印刷で16万円弱の費用。 会員配布だけでなく、市町村、賛助機関等の関係機関に200部配布。対外的な広報にも必要。</p> <p>②ホームページ ・災害レシピページのアップまでの確認 DAT 委員会へ再度確認していく(限定公開中)</p> <p>・トップページから会員向けのイメージが強い 『県民向け』の側面も強調する必要があるため(会員増だけでなく公益も考慮)アイデア出し。 →スマホでスクロールすると見つかりにくいいため、会員の方へ、県民の方へというタブがあるだけでも良いのか。 (富山県栄養士会、理学療法士協会もある。日本栄養士会はない) コンテンツ案：レシピ、管理栄養士・栄養士の1日の流れ、会報誌</p> <p>・愛知県内 保健所管内栄養士会との繋がり・連携 保健所管内栄養士会の研修会のお知らせ等ができるサイトを、HP 内に作ることでできるとよいか。 毎年、管内栄養士会の集いが開催されているが、県か管内どちらかしか入会していない人もいることもあるため、上記により互助関係で両方に入会してもらえないようにならないか。 →県栄とは他団体であり、温度差がある全管内栄養士会から賛同得られることができるか調査が必要か。「栄養士のためのリンク集」に窓口を掲載するだけでもよいのではないか。</p> <p>③次年度のLINE 広報方法について 有料会員になるよう予算申請してある。公式LINE 登録者1000名以上(会員かどうか不明)。 非会員にも活動を知ってもらい、会員になってもらう良い機会。 会員に誘導していけるような案内を出していく。</p> <p>④その他 ・SNS 活用を検討(X、インスタ等) ・5月の総会までの約2年が任期。留任、後任あるため、年度替わりで多忙なため次回は総会後に開催予定。</p>		
理事会での検討事項			
今後の検討事項			
委員会の課題			